

大日本スクリーンとIPS社のインクジェットプリンティングシステムが 業界をけん引 ～ロール紙対応型カラーインクジェットプリンティングシステムの納入実績が 200台を突破～

大日本スクリーン製造株式会社(以下、大日本スクリーン)とInfoPrint Solutions Company(本社：米国・コロラド州ボルダー/社長兼CEO：瀬川 大介氏/以下、IPS社)は、両社がそれぞれ販売するロール紙対応型カラーインクジェットシステム「Truepress Jet520」と「InfoPrint 5000」の納入実績が、世界で累積200台を超えたことのお知らせします。

大日本スクリーンが開発したフルカラーバリアブルインクジェットプリンティングシステム「Truepress Jet520」に搭載されているインクジェット技術が、高生産性に対する顧客からのニーズに応えるための最適なテクノロジーとしてIPS社に認められ、同社の「InfoPrint 5000」に採用。2007年に本格的な拡販が開始されて以降、両社の製品はそれぞれ、業務帳票システムをはじめ各種データベースとの連携などで相互の強みを生かしつつ、明細書のほか書籍や新聞など、世界の印刷業界における幅広いアプリケーションに対応し、高い評価を獲得しています。その結果、2010年3月末までの3年間で「Truepress Jet520」と「InfoPrint 5000」は、累計200台以上の納入実績を達成しました。

大日本スクリーンとIPS社は、今後も連携を強化し、高い品質と生産性を求める顧客に対して両社の専門技術を生かした提案を推進していきます。

■ 大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー社長

藤澤 恭平のコメント

当社の先進的なインクジェット制御技術、カラーマネジメントシステム、独自のスクリーニングアルゴリズム、安定したロール紙対応型システムなどの技術基盤が、高生産性と高い印刷品質の両立という付加価値をお客さまに提供できたため、このような高い評価を頂けたものと喜んでおります。当社は、IPS社との強固な協力関係を築きながら、事業領域を拡大し、独自のインクジェット技術を強化してきました。その結果、200台以上のシステム(ユニットベース)を世界中に納入できたことは非常にうれしく、今後もより幅広い機能を提供し、顧客の多様化するニーズに対応していきます。

■ InfoPrint Solutions Company Production Inkjet Solutions & Technology Alliances 担当副社長

George Promis氏のコメント

大日本スクリーンの最先端のインクジェット技術を導入したことにより、われわれが想像していた以上の結果がもたらされました。カラー印刷の需要増大に伴い、システムを増備しようとしている既存の顧客と新規の顧客から大いに受け入れられていることが、そのことを裏付けています。「InfoPrint 5000」の高い信頼性と確かな技術により、オフセット印刷機やトナー方式のデジタル印刷機から移行しようとしている顧客の支援に注力でき、新しいビジネスチャンスを広げることができました。IPSのデジタル印刷技術、そして世界トップクラスのソフトウェアとサービスは、さまざまな企業から40年以上にわたり信頼を獲得してきました。これからも、最先端を走り、信頼性が高く、幅広く発展できる出力ソリューションを提供し続けたいと考えています。

■ InfoPrint Solutions Company

2007年6月設立。IBM コーポレーション (以下、IBM社) と株式会社リコー (以下、リコー社) による共同出資会社。IBM社の50年にわたるプロダクション印刷の経験と、リコー社の革新的な技術開発力などにおける協力関係を基盤として設立された。

www.infoprint.com

www.twitter.com/infoprint

インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン株式会社 (日本法人)

www.infoprintsolutionscompany.com/jp